あなたの一票が、
能登の復興を後押しします。


人流と物流拠点の七尾港

ポート・オブ・ザ・イヤー
2026

ポート・オブ・ザ・イヤー2026とは

港湾の利活用やみなとまちづくりなどの各種の港湾活動や、港に関する話題づくりにその年で最も優れた取り組みを行い、我が国の港湾・臨海部の活性化に貢献した港湾を選定し、「みなとの元気」を高めた港湾が、ポート・オブ・ザ・イヤーとして表彰されます。



港がつなぐ、復興への希望。

令和6年能登半島地震により、能登の7つの港（七尾港、和倉港、穴水港、宇出津港、小木港、飯田港、輪島港）は大きな被害を受けました。
現在、各港では施設の復旧とともに、物流機能の確保や漁業・観光など地域のなりわいの再生が進められています。また、祭りやイベントの再開により、港は再び人々が集う交流と賑わいの拠点となっています。

港から生まれる活力が、能登の復興を支えています。
能登の港への応援の一票をお願いします。


復旧された護岸の背後で
旅館再建が進む　和倉港


復旧資材の輸送に不可欠な
飯田港


災害廃棄物の搬出拠点となった
穴水港


地域の生業拠点となる 小木港


新たな交流広場が創出された
輪島港
平面化により
賑わいエリア創出


迫力ある祭りで賑わいを
取り戻す 宇出津港

能登の7つの港　七尾港・和倉港・穴水港・宇出津港・小木港・飯田港・輪島港

スマートフォンから簡単投票！

STEP 1
QRコードを
読み取る

STEP 2
必要事項を入力
・氏名
・メールアドレス
・投票するみなと名
・選定理由　など

STEP 3
「能登の港」と
入力して投票！

所要時間　約2～3分

投票はこちら

https://www.phaj.or.jp/POTY/

投票締切

令和8年
11月30日(月)まで

●お一人様１票
●スマートフォンからも投票できます
●ご家族・ご友人への周知も歓迎します

選定理由　記載例

投票フォームの「選定の理由」の記載例です。
投票への参考にしてください。

・能登の復旧・復興に役立っているから。
・震災からの復旧・復興を支えているから。
・復興のシンボルとして活力を創出しているから。
・物流・漁業・観光を支え、地域に貢献しているから。
・人々が集う交流と賑わいの拠点となっているから。
・港から生まれる活力が、能登の未来につながる。



ポート・オブ・ザ・イヤー 2026に推薦します

能登復興を支える七つの港（能登の港）

推薦：七尾市／穴水町／能登町／珠洲市／輪島市／石川県

能登半島地震からの復興に向けて

古くから港町として栄えてきた能登の七つの港（みなとオアシス登録：七尾港、和倉港、穴水港、宇出津港、小木港、飯田港、輪島港）は、令和6年能登半島地震による強い揺れや地盤隆起、津波により、これまで経験したことのない甚大な被害を受けました。



現在、物流機能の確保やなりわいの再建に向けて施設の段階的な利用再開を進めるとともに、各港において本格復旧事業を着実に進めています。

復旧にあたっては、地域の将来を見据えた創造的復興にも取り組んでいます。震災から復旧3年目を迎える中、施設復旧と並行して祭りやイベントが再開され、地域住民や観光客が集う賑わいの拠点として重要な役割を果たしています。

港を核とした賑わい創出

①七尾港

マリンパーク内にある能登食祭市場周辺の園路の一部が復旧し、市民や観光客が再び海辺に集える環境が整いつつあります。5月には「青柏祭」が開催され、日本最大級の曳山「でか山」が市街地を巡行し、多くの来訪者で賑わうなど、復興へ向かう能登の活力を広く発信しました。

②和倉港

和倉温泉の景観や利用環境にも配慮しながら護岸復旧を進めています。10月31日(土)、11月1日(日) には「Sea級グルメ全国大会inななお」の開催が予定されており、全国のみなとオアシスから自慢のグルメが集結することで、多くの来訪者を呼び込み、地域の交流促進と賑わい創出が期待されています。

③穴水港

川島地区物揚場の応急復旧により災害廃棄物の搬出を効率的に行い、地域復興を後押ししました。例年あすなろ広場で開催されていた「雪中ジャンボかきまつり」は、代替イベントとして商店街を会場に穴水産カキの販売や飲食提供が行われ、多くの来訪者で賑わい、地域の元気を発信する機会となりました。

④宇出津港

地盤沈下による被害を受けた港湾施設や宅地の冠水対策等を実施しながら利用環境の確保を進めています。7月には勇壮さで人々を魅了する「あばれ祭」が開催され、燃え盛る大松明の中を「キリコ」と呼ばれる奉燈が練り歩く迫力ある祭りに多くの住民や観光客が集い、地域の再生を象徴する大きな賑わいを創出しました。

⑤小木港

九十九湾の物揚場の応急復旧により観光シーズンにあわせて遊覧船の運航を再開しました。「イカキング」で知られるイカの駅つくモールでは各種イベントやフェスが開催され、県内外から多くの観光客が訪れるなど、港を中心とした観光振興と地域活性化につながっています。

⑥飯田港

公費解体により発生したコンクリート殻を活用した埋立地造成を進めるとともに、将来の魅力向上につながる利活用を検討しています。7月には江戸時代初期から続く伝統的神事である「燈籠山祭り」が開催され、豪華絢爛な燈籠山が町内を巡行し、帰省者や観光客も加わって大きな賑わいを創出しました。

⑦輪島港

地盤隆起により利用が困難となった港湾緑地内の親水性護岸を平面化し、新たな交流広場が整備されました。また、8月の輪島大祭では復興への願いを込めたキリコ巡行に大勢の市民や観光客が集まったほか、来年には岸壁の復旧にあわせたクルーズ船の寄港も予定されるなど、賑わいと交流の拠点として再生しつつあります。

復興を支える港の力

このように能登の各港は、震災からの復旧・復興を支える物流基盤としての役割に加え、祭りやイベントを通じて地域に人を呼び込み、交流と賑わいを創出する拠点として大きく貢献しています。

復旧・復興にあたり多大なご支援をいただいた国や全国の地方公共団体をはじめとする皆様への感謝を胸に、七つの港は復興のシンボルとして活力を創出しています。



青柏祭（七尾）